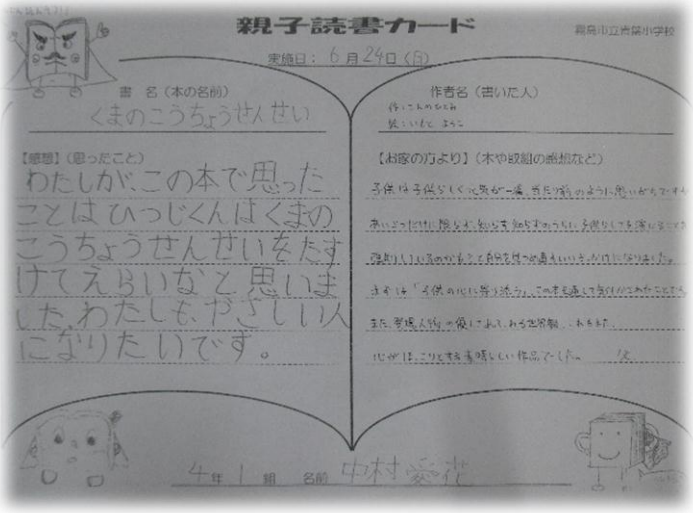
# 鹿児島県霧島市立青葉小学校

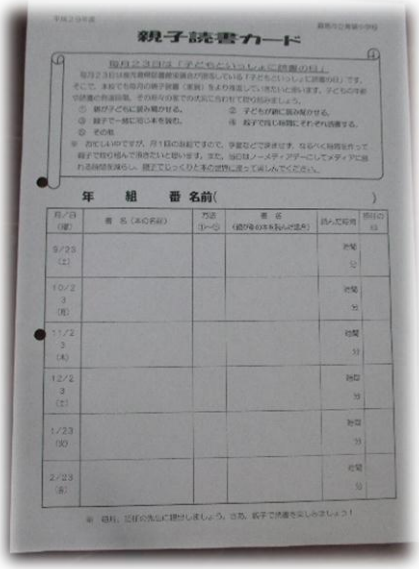
## 家読（うちどく）

毎月二十三日こども読書の日は、「子どもといっしょに読書の日」（うちどく）に取り組んでいる。より本に親しむ、親子で一緒に穏やかな時間を過ごすということを目的としている。子供の年齢や読書の発達段階、その時々の家での状況に合わせて取り組んでもらえるよう保護者にも文書や学級ＰＴＡで説明をしてから取組をスタートさせた。

保護者の感想からは、子供の成長を感じたり、親子で過ごす時間を大切に感じてくださったりしていることが伺える。読書をきっかけに親子のコミュニケーションが深まっているようだ。




親子読書（うちどく）カード



下の兄弟たちも嬉しそう。妹に本を読む姿を見て成長を感じた。

## 保護者の感想より

気付くとゲームやテレビ‥‥。ゆっくりと静かな（家読の）時間が大事で楽しい。

最近，私自身も子供が借りてきた本を読むのが楽しみになってきた。

子供の感想から大人とは違う感覚を教えてもらい今回も楽しめた。

親子読書があることで，本を読む機会ができてよかったとつくづく思っている。

いつの間にか絵本ではなく文字の多い本を読むようになり子供の成長を感じる。

親子読書は，とても楽しい。よい時間。

親子で読み合いっこをして楽しかった。

今度一緒に本の内容を作ってみたい。

親子で思いを共有できて，ゆっくり時間を過ごせ，私も忘れられない時間になった。